NUX MG-50Li Quick Start Guide

安全上のご注意

■表示された電圧でご使用ください。表示以外の場合、火災、感電、破損の原因になります。

■本機の裏ぶたやカバーを開けたり、分解、改造をしないでください。火災、感電、破損の原因になります。修理はお買い上げの販売店にお問い合わせください。

■本機は湿気の多い環境、高い温度の場所、日光が直接あたる場所での使用は避けてください。

■長い時間使用しない場合は接続を外してください。

■火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用による損害に関して、当社は一切責任を負いません

■本製品は FCC 規制パート 15 によるクラス B デジタル製品の制限に準拠しています。このため本製品の操作を行う際には、以下の 2 つの条件に従います。(1) 本機器が有害な電波障害の原因となる可能性はないこと。(2) 不本意な操作による電波障害を含む何らかの電波障害を本製品が受けた場合、それを受け入れなければならないこと。

本取扱説明書は大切に保管してください。

製品の概要

MG-50Liは、NUXのフラッグシップとなるギター/ベース用マルチエフェクトプロセッサー。TS/AC-4K ホワイトボックス・フィジカル・モデリングアンプとDeepImageプロファイリング・アンプ・モデルの2つのコア技術を基盤とします。マイクの種類、位置、距離を調整可能なステレオのキャビネットエミュレーションL/R Cyber IRエンジンによりサウンドをより詳細にコントロールする事ができます。

最大14個のエフェクトブロックと柔軟なルーティングオプションを組み合わせ幅広いサウンドメイクが可能です。
NUX IMAGEアプリとDeepImageテクノロジーを使用してお気に入りのアンプやOD/DISTペダルをキャプチャーしプロファイルをMG-50Liに直接保存。さらにIMAGEアプリを使用してキャプチャーをEQやパワーアンプと組み合わせてサウンドを作成する事もできます。

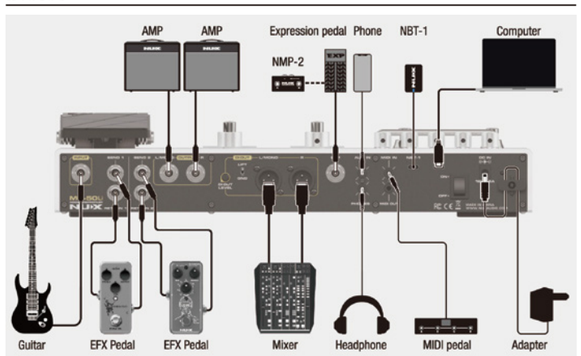
プリセットはフロントパネルからでも、スマホ、PCのNUX Audio アプリからでもカスタムが可能。洗練されたデザイン、直感的に操作できるインターフェイス、高音質なトーンを実現しています。

製品の特徴

- TS/AC-4K ホワイトボックス・フィジカル・モデリング・アルゴリズムにより驚くほどリアルなアンプシミュレータとエフェクターを実現。
- NUX Image & DeepImage プロファイリングによるアンプと歪エフェクターをキャプチャー可能。
- L/R Cyber IRエンジンによる、マイクの種類、位置、距離を調整可能なステレオキャビネットエミュレーションを提供。
- 最大2台のアンプと4台のキャビネットを備える2つのエフェクトチェーン。
- 柔軟なルーティングが可能な最大14個のエフェクトブロック。
- 24-bit AD/DA、32-bit 浮動小数点処理、48kHz サンプリングレートによる音質。
- 5インチ高解像度カラーLCDディスプレイ。
- NUX Audio アプリコントロール対応。（スマートフォン、PC）
- 2つのセンド/リターン端子を装備。
- PCにUSB接続して、サウンドのカスタマイズ、プリセット管理、USBオーディオインターフェイスとして使用可能。
- 最大5時間使用が可能なバッテリー内蔵。

ご注意
他社メーカーの商標は、サウンドモデリングされたトーンを表現するための参考としてのみ使用されています。各社の商標または登録商標であり、NUXと関係するものではありません。

接続例



各部の名称と機能

■Top panel

1. 5"カラーLCD ディスプレイ

2. Edit ノブ
- ホーム画面で回してプリセットを選択し、押して確定します。
- ノブを押してエフェクトチェイン編集画面へ移動します。
- エフェクトチェイン編集画面で回してエフェクトブロックの選択、押して選択したブロックの有効/無効を切り替えます。

3. Master Volume ノブ
MG-50Liのマスターボリューム（最終的な出力音量）を調整します。

4. Edit ボタン
- エフェクト調整画面へ移動します。
- 長押しするとエフェクトカテゴリーとエフェクトを纏めて選択できる画面へ移動します。

5. Back/Home ボタン
- 押すと、選択をやめる or 前のページへ戻ります。
- 長押しするとホーム画面へ戻ります。

6. Save ボタン
長押しでセーブ画面へ。セーブ画面では決定ボタンとして機能します。

7. Global Setting ボタン
Global Setting画面へ移動します。

8. Select, 1, 2, 3, 4 ノブ
編集画面ではノブを回してパラメータを変更。ノブを押して、画面表示に対応してON/OFFの切り替えなどをおこないます。

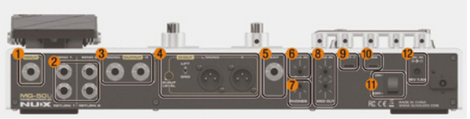
9. Down/Up スイッチ
スイッチを押してプリセットバンクを切り替えます。

10. A/B/C/CTRL スイッチ
- A/B/Cスイッチを押してパッチを切り替えます。
- CTRLスイッチに割り当てた機能を切り替えます。

11. Input/Output インジケータ
- Inputインジケータは入力信号レベルを表示します。
- Outputインジケータは出力信号レベルを表示します。

12. Pedal
- ペダルがOFFの時、出力レベル（音量）をコントロールします。
- ペダルを踏み込んでペダルのON/OFFを切り替えます。ONの時はGlobal Settingボタンが点灯し、ワウペダルやエフェクトのパラメータなど割り当てた機能をコントロールする事ができます。

■I/O jacks



1. Input ジャック
ギター、ベースを接続します。

2. Send/Return ジャック（エフェクトループ）
- SendとReturnの間に他のエフェクターを接続して、MG-50Liのエフェクトチェーンに加える事ができます。
- Send (1, 2)/Return(1, 2)をそれぞれ1をL、2をRとして使用してステレオエフェクターを接続する事も可能です。

3. Output ジャック
ギターアンプまたはミキサーに接続します。モノラルで使用する場合は、L/MONOを使用します。

4. DI out ジャック＆コントロール
- SendとReturnの間に他のエフェクターを接続して、MG-50Liのエフェクトチェーンに加える事ができます。
- Send (1, 2)/Return(1, 2)をそれぞれ1をL、2をRとして使用してステレオエフェクターを接続する事も可能です。

5. EXP ジャック
エクスプレッションペダルやフットスイッチを接続して、パラメータやエフェクトのON/OFFなどをコントロールします。

6. Aux in ジャック
音楽プレイヤーなどを接続して音楽と一緒に演奏する事ができます。

7. Earphones ジャック
イヤホン/ヘッドホンを接続します。

8. MIDI IN / MIDI OUT ジャック
外部MIDIデバイスを接続します。

9. NBT-1 ブルートゥースモジュール用USB-C ポート
ブルートゥースモジュールNBT-1をこのポートに接続するとMG-50Liのブルートゥースオーディオとアプリでのコントロールが有効になります。

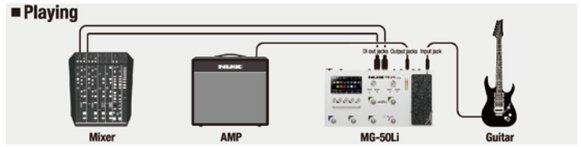
10. USB-C ポート
データ通信が可能なUSBケーブルを使用してPCに接続し、MG-50LiとPC間でオーディオ/MIDIデータを交換します。

11. Power スイッチ
MG-50Liの電源ON/OFFを切り替えます。

12. Power ジャック
付属のACアダプターを接続します。

使い方

■Playing



1. ギターをMG-50Liに接続し、MG-50Liをアンプまたはミキサーへ接続します。
2. MG-50Liの電源を入れます。
3. Down/Upスイッチを押すかEditノブを回してプリセットバンクを選択。A/B/Cフットスイッチでプリセットを選択します。

4. Editノブを押してエフェクトチェーン調整画面へ移動します。

注記:
- エフェクトチェーン調整画面でSelectノブを押してから回すと、チェーンスタイルの選択が可能です。（シングル//パラレル/スプリット）
- ノブ1と2のいずれかを押してから回すとエフェクトモジュールと使用モデルを簡単に変更する事ができます。
- ノブ3を押してから回すとエフェクトブロックを移動する事が可能です。
- ノブ4を押してから回すと選択しているブロックの設定を別のブロックにコピー＆ペーストする事ができます。

5. Editボタンを押してエフェクト調整画面へ移動し、調整します。

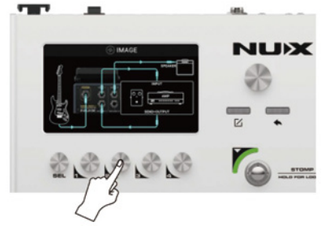
6. Editボタンを長押しして、エフェクトモジュールとモデルをまとめて変更する事が可能です。Editノブを回してモジュールを選択、Selectノブを回してモデルを選択します。

7. STOMPモード
Down/Up スイッチを同時に押すかSelectノブを押してSTOMPモードへ移動します。

注記:
- 画面に従ってどのエフェクトブロックのON/OFFをどのフットスイッチに割り当てるか設定します。
- 1つのフットスイッチに複数のエフェクトブロックを設定し、同時にコントロールする事も可能です。

8. CTRL/EXP セットアップ
ノブ1を押して現在選択しているプリセットのCTRLスイッチ/EXPペダルを設定します。

9. IMAGE
MG-50LiをPCと接続し、NUX IMAGEアプリを起動してノブ2を押すとプロファイリングの有効/無効を切り替えます。
詳細は次項をご確認ください。



10. INPUT TRIM
ノブ3を押して楽器の入力トリムを設定します。楽器ごとに最大6つの入力トリム設定を保存できます。

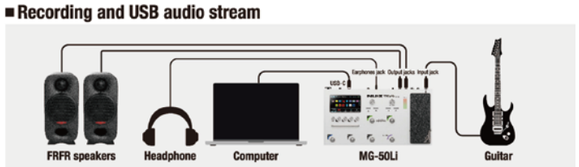
11. CONSOLE
ノブ4を押して出力コンソールの音量とUSBストリーム設定を調整します。

注記:
- 各項目に対応するノブを押すとその項目がミュートされます。
- EDITノブを押すとUSBストリーム設定画面へ移動します。
- 演奏を録音するにはUSB「NORMAL」、リアンプする場合は「REAMP」を選択します。

12. Looper
Down/Upスイッチを同時に長押しするとルーパーが起動します。

13. Tuner
CTRLスイッチを長押しするとチューナが起動します。

■Recording and USB audio stream



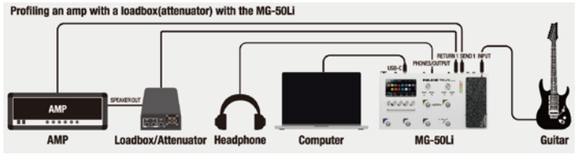
MG-50Liのサウンドをパソコンで録音したり、パソコンからOUTPUTジャック、ヘッドフォンを通してオーディオを出力する事ができます。
※録音設定の詳しい手順については、www.nuxaudio.comをご覧ください。

■Profiling with the NUX IMAGE app

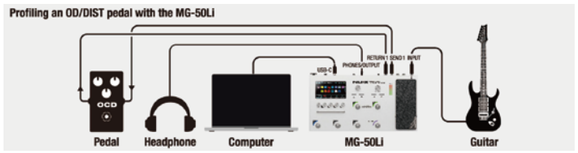
MG-50Liは、NUX IMAGE アプリを使用してお気に入りのアンプをプロファイリングする事ができます。これらのサウンドをMG-50Liにロードして持ち運ぶ事ができます。

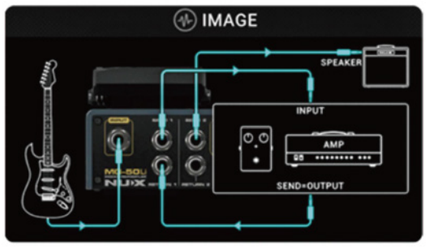
「.image」はNUX独自のファイル形式です。これはアンプ、プリアンプペダルのシングルプロファイルを表します。一方、「.deepimage」は複数の「.image」ファイルを組み合わせて作成される別形式のファイルです。この組み合わせによってアンプのゲイン/ボリューム・コントロールをしっかりとシミュレートします。

1. アンプまたはOD/DISTペダルと、ギター、PC、MG-50Liを下図の様に接続します。



注意
プロファイリングを開始する前に、アンプのスピーカー・アウトにロードボックスかアッテネータを接続して、必ずMG-50Liにアンプから信号を出力してプロファイリングする必要が有ります。





2. HP(https://nuxaudio.com/)からNUX IMAGE アプリをダウンロードしてください。

NuxImage

3. NUX IMAGEアプリで「.Image」ファイルを作成します。

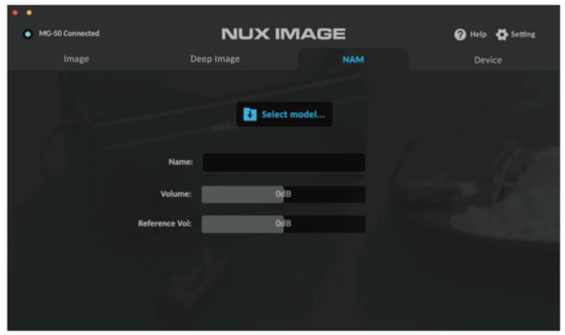
注記:
- プロファイリングを開始する前に「リファレンスレベル」を確認してください。アンプのゲインを最大に設定しマスターボリュームで調整してリファレンスレベルが高くなりすぎない様に調整する事をお勧めします。
- コンピュータの音量は最大に設定してください。
- ギターをかき鳴らしウェット信号レベルが推奨範囲に収まっている事を確認してください。
- GOをクリックしてスタートします。
- プロファイリングが完了したら「モデル」と「リファレンス」を切り替えてサウンドを比較する事ができます。
- Exportをクリックして.imageファイルをコンピュータに保存します。

注意
.deepimageファイルに結合するために、.imageファイルのファイル名は、”xxxx_0”, ”xxxx_20”, “xxxx_40”, “xxxx_60”, ”xxxx_80”, ”xxxx_100”という形式で名前を付けてください。

4.「Deepimage」ファイルの作成
Select IMAGE Files をクリックして、作成した.imageファイルから2〜6個を選択して.deepimageファイルに結合します。

注記:
- .deepimageを作成するデバイスのタイプをAmplifier/Stomp Boxから選択します。
- "F'65, V'Diamond, M'British, High Gain, Bass"からEQを選択します。
- 作成したサウンドはNUX IMAGE アプリで直接プレビューが可能です。
- 全ての設定が完了したらLoad into Deviceをクリックして MG-50Liに保存します。または、Exportをクリックしてコンピュータに保存します。

5. NAMファイルのインポート
Neural Amp Modelerで作成したNAMファイルをMG-50Liにインポートする事ができます。



6. MG-50Liへのインポート
.imageファイル、.deepimageファイルをMG-50Liに読み込むことができます。また、作成したファイルをMG-50Liから削除する事が可能です。

ソフトウェアとアプリ

Windows、macOS用のNUX ADUDIO ソフトウェアや、iOS、Android用のアプリはNUX HP（www.nuxaudio.com/mg50li）からダウンロードしてください。

※ WindowsPCで使用する場合は、同サイトよりNUX ASIO Driver をダウンロードしてインストールしてください。macOSでは必要ありません。

Specifications

– Analog/Digital: Digital
– Sampling Rate: 48 kHz / 32 bit
– System Latency: Minimum 3 ms
– Presets: 96 Factory presets, 201 User presets
– Number of EFX Blocks: 14 (NG, CMP, EFX, AMP, EQ, S/R, IR, DLY, RVB, WAH, MOD, PL)
– Effect Chain: Serial, Parallel, Split
– Impulse Responses: 42 Factory Cyber IRs (L/R), 60 User IRs(L/R)
– Amps: 28 White-box Modeling Amps, 3 DeepImage Amps, 30 User Amps
– USB: USB-C (24-bit / 48 kHz USB Audio, USB MIDI [PC Editor], Firmware Update)
– Bluetooth: NBT-1 Bluetooth Module (included) with App Control
– Expression Control: Yes (optional external EXP pedal or NMP-2 Lite footswitch)
– Bypass Switching: Buffered Bypass
– Software: NUX Audio Editor (PC), NUX Audio App
– INPUT/RETURN Impedance: 1 MΩ
– AUX IN Impedance: 10 kΩ
– OUTPUT L/R Impedance: 1 kΩ
– BALANCED OUTPUT Impedance: 440 Ω
– SEND Impedance: 1 kΩ
– PHONES OUT Impedance: 10 Ω
– INPUT to OUTPUT L/R Dynamic Range: 110 dB
– Battery lifetime: 5 hours
– Battery fully recharging time: 5 hours
– Power Supply: 12V DC / 1.5A (Center Negative)
– Current Draw: < 1400 mA
– Dimensions: 393 (L) x 210 (W) x 72 (H) mm
– Weight: 2.8 kg

付属品: クイックスタートガイド（本紙）、USBケーブル、MIDI変換ケーブル、ACアダプター、NBT-1 ブルートゥースモジュール、ギグバッグ

※ 仕様は予告なく変更となる場合があります。

保証書その他

■万一、保証期間内(お買い上げ1年以内)に製造上の不備に起因する故障の生じた場合は、お買い上げ店を通じ弊社にこの保証書を添えてお申付け下さい

■必要事項が明記されていない場合は保証が実行されないことがございますのでご注意下さい。なお、本書は再発行しませんので大切に保存していただけますようお願い申し上げます。

免責事項について
下記の場合は保証の対象とならず、有償修理となりますのでご注意ください。
1） 本保証書がない場合、また、記載内容に不備がある場合
2） 取扱説明書に記載された内容以外の原因により不備が発生した場合
3） お買い上げ後の使用上の誤り、改造、輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
4） 火災、地震、水害、落雷などの想定外の災害などによる故障及び損傷
5） 消耗品の交換
6） 日本国内以外での使用

●保証書に記載されている保証がすべてであり、この保証の外は、明示の保証・黙示の保証を含め、一切保証しません。
●この取扱説明書で説明された以外の使い方によって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
●接続機器との組み合わせによる誤作動などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
●この取扱説明書につきましては、、万一ご不明な点、誤り、記載漏れなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
●本製品およびこの取扱説明書に記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。